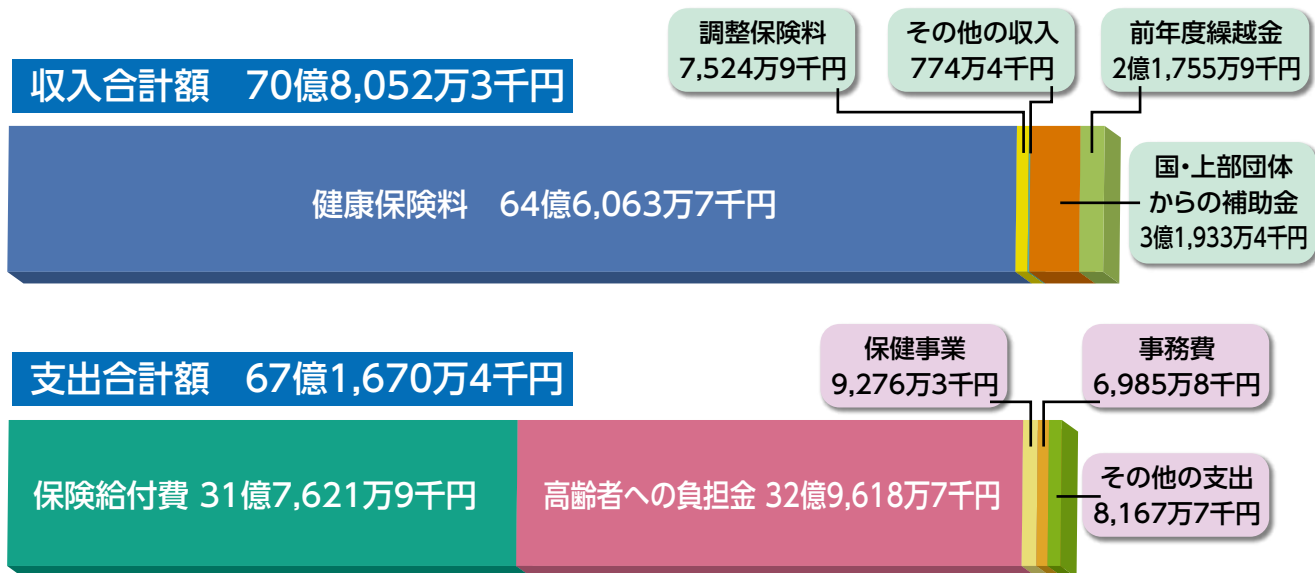


平成30年度健康保険組合決算のご報告

第169回ダイハツ系連合健康保険組合会において平成30年度決算が承認されました。
 平成30年度決算は、被保険者数の増加と給与・賞与額のアップで保険料は収入増となりました。
 一方、高齢者への負担金の高止まりに加え、医療費等が4期ぶりに増加に転じ、前年度から5,756万円改善したものの、結果として経常収支は赤字となりました。

健康保険決算



収支差引残金(註) **3億6,381万9千円**

経常収支差引額 **▲1億7,089万8千円**

(註) 収支差引残金3億6,381万9千円は以下の通り処分しました。
 ・3億6,367万4千円を法定準備金へ積立て
 ・14万5千円を次年度の上部団体への健保相互扶助拠出金として繰越し

平成30年度決算(各種基礎データ)

健康保険料率=10.00%		平成30年度適用状況		前年度比
事業主=5.39%	被保険者=4.61%	年間平均被保険者数	12,438人	+244人増
		年間平均被扶養者数	13,677人	+159人増
		平均標準報酬月額	344,481円	+4,379円増

介護保険決算

40歳以上の皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。
 納めた介護保険料は介護保険の運営者である全国の市区町村に配分され高齢者の介護の費用として使われています。

収入合計額 **5億578万2千円**

支出合計額 **4億8,126万8千円**

収支差引残金(註) **2,451万4千円**

(註) 収支差引残金2,451万4千円は以下のとおり処分しました。
 ・2,451万4千円全額を介護準備金へ積立て

今後も厳しい財政状況が続くことが予想されますが、引き続き事業主の皆さま、組合員の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。